

2025

第42回 ヨーロッパ・キリスト者の集い

参画教会：スイス日本語福音キリスト教会、南ロンドン日本語キリスト教会、カールスルーエ聖書の学び会

申込受付：4/1-4/30

参加費払込：5/1-5/31

開催会場

Christliches Gästezentrum
WürttembergWilly-Schenk-Straße 9
73527 Schwäbisch Gmünd

定員

200名

日程

2025年8月7日(木)-10日(日)

参加料金（一人一泊三食付き）

シングル：	€110
ツイン：	€ 92
マルチ(4人部屋)：	€ 69
学生：	€ 50
13-17才：	€ 47
8-12才：	€ 32
4-7才：	€ 28
0-3才：	無料

*大学生、専門学校生、研修生等一定の収入を持たない参加者の料金は学生に該当します。

*施設料金の値上がりにより、やむを得ず参加費も値上げ致しました。第一信でご連絡した料金から変更しています。ご了承ください。

恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。
わたしはあなたの名を呼んだ。
あなたは、わたしのもの。
(イザヤ書43章1節)

あなたを贖うキリスト

日々、様々な困難に悩み、チャレンジの中に置かれ、不安を感じる私たちに聖書は繰り返し、「恐れるな」と語りかけます。それは、私たち一人一人を主が十字架の血潮をもって買い取ってくださり、私たちが主のものとされ、神の民とされるからです。

このすばらしい福音のメッセージをいただいて、今一度、キリスト者として、いかに幸いな者とされているかを、みことばからじっくりと味わい、静まり、養われ、また、主にある交わりも楽しみつつ、喜びをもって、主をほめたたえ、今年も主の御前に集います。

回を重ねてきたこの集いも、毎年、子どもから高齢者まで、留学生、駐在員、国際結婚などの多くの方々の参加を得て、幅広く実際の人生・生活にキリスト者としての生き方を求めてきました。今年も分科会でも新しいテーマも取り入れ、広く人々の関心に応えていきたいと願います。家族みなで集いたいとの願いから、国際結婚の配偶者の方々にもバイリンガルで参加できるように工夫しています。CS幼小科、ティーンズ、ユースの若い世代も多く集うようになり、信仰継承も着実に進んでいます。

主に愛されている者にふさわしく、喜び、励まされつつ、主の証しとともに生きる神の民とならせていただきましょう。是非、まだキリストを知らないご家族やお友達もお誘いの上、いらしてください。お待ちしております。

発行：ヨーロッパ・キリスト者の集い 実行委員会

ホームページ：www.europetsudoi.net/紹介ビデオ：<https://youtu.be/bNHddmditHc>

分科会のお知らせ

ファシリテーター敬称略

キリスト者としての共通のテーマについて、聖書のことばに耳を傾け、学びを深める分科会です。今年は金曜日の昼と夜の2回、それぞれ異なるテーマで開催します。参加は自由です。昨年好評のテーマに加え、新たなテーマもご用意しました。ぜひご参加ください！

原語で読む聖書：ファシリテーター 村岡崇光

旧約はヘブライ語とアラム語、新訳はギリシャ語でもともと書かれた。聖書をこういった原語で読むと、それから翻訳されたもので読んだのでは全然見えてこないことがある。そのことはどの和訳聖書についても該当する。しかし、この三つは日本語とは縁もゆかりもなく、ガラッと違う。欧米の神学校でも三つともきちんと教えているところは極めて稀。このことを、いくつかの実例に照らして見てみたい。

AIとの付き合い方：ファシリテーター 増谷啓

AIは便利なだけでなく、私たちの信仰とどのように関わるのでしょうか？この分科会では、AIの活用方法を学びながら、教会や伝道での応用や信仰者としての注意点を分かち合います。AI時代における課題と希望を共に考え、神様に喜ばれる、健全なAIとの付き合い方を模索する実りあるひとときを目指します。

黙想と祈り・ディボーション：ファシリテーター シスターソハラ

「祈り」に隠されている宝物・きらきらと輝く宝石のように見えるものもあれば、私たちの肉の目には、黒く、まったく魅力のないものもあります。この宝物を探し求め、見つける旅をご一緒に続けましょう。

高齢者の平安：ファシリテーター 馬場信裕&晶子

多くは、体力、気力に衰えを感じ始めるそのときから「老い＝死」を現実のものとして意識し始める。しかし、「高齢者の平安」というテーマは該当者だけを対象としたものでなく誰もが人生において一度は真剣に向き合うべきテーマである。人生100年と言われる今立ち止まってこれまでの人生を振り返り、今後の人生に平安と希望を持って歩むために自分の依って立つもの、目標を確認しあい、人生をリセットする機会としたいと思う。

キリストの弟子として歩み始めたい方に：ファシリテーター 永井敏夫

男性向けバイブルスタディEMAWは、キリストの弟子として生きたいと願う方々にぴったりの学びです。まず静思の時を持ち黙想するスキルを身につけ、夫婦関係と子育てに関わる実践的な助言と聖書の視点を学びます。更に、金銭管理、仕事、セックスと純潔、試練を乗り越えること、意義ある人生を生きるにはどうすれば良いかという問いについてテキストを読みながら共に分かち合い、祈り合うセッションです。

ガチだから信じる：ファシリテーター Timothy James (ティムクリ)

イエス様を信じる理由とは？それぞれ色々な理由があると思うけど、僕の場合は意外にシンプルで「聖書はガチ（真実）だとわかったから！」聖書がガチならイエス様も十字架の御業もそのほか聖書にあるすべての記述も真実！それを信じて人生が本当に変えられたイエス様大好き人間の僕とまだ信じていない皆さんと語り散らかし合いの時を持ちましょう！

国際結婚（日本語/English/German）：ファシリテーター 山口ヨハンナ&修平

国際結婚をするなかで生じる疑問や課題、そして子育てについて一緒に話し合いませんか。参加お待ちしております。

信徒リーダーの養い：ファシリテーター 清水勝俊

教会の営みには良き信徒のリーダーとしての働きが不可欠です。ヨーロッパには牧師のいない教会も多く、健全な信徒リーダーの養いは重要です。集会のリーダーをされておられる方、教会の役員やグループのリーダーとして働いておられる方、あるいは、良き奉仕者として成長していきたい方は、どなたでも歓迎です。お互いの経験も分かち合いながら、みことばをいただいて、ともに励まし合い、キリストのみからだを建て上げていきましょう。

イスラエル：ファシリテーター マルチン・マイヤー

依然としてハマスとの争いも続いており、イスラエルはますます混迷を深めています。とりまく世界の政治情勢も変わり、今後はどのようなになっていくのでしょうか。聖書のみことばに照らし、時代の流れを見失うことなく、イスラエルの今を見ていきたいと思えます。

お知らせ

申し込みはお早め
に

本館のご宿泊はお申し込みの先着順となっております、施設の利用状況によっては近くのPension Kroneへご宿泊いただく可能性もございます。本館でのご宿泊をご希望の場合は、できるだけお早めにお申し込みいただきますようお願いいたします。お申し込みは4月1日より受付開始となります。所属教会責任者に連絡の上、申し込みフォームからお申し込みください。

奉仕者募集

この集いは、皆さんの温かいご奉仕によって支えられています。ぜひご協力をお願いいたします！特に、本大会の音響や映像のサポートや通訳を担ってくださる方が不足しています。経験がなくても大丈夫です。興味のある方はぜひご参加ください！

第三信配信予定

7月中旬に配信の予定です。

サイドプログラム

今年も本大会と並行して下記のプログラムをご用意しています。

幼小科

今年の幼少科のテーマは大人と同じ「あなたをあがなうキリスト」です。「あがなう」って言葉は少し難しいかもしれないけれど、イエス様の十字架の愛が子どもたちに伝わるようにと願い、祈り、準備しています。毎回の集会での聖書のお話はもちろん、賛美、工作、ゲーム、そしてミニ遠足など盛りだくさん。暗唱聖句も頑張ります！また、今年はゴスペル大道芸人のおっこうさんが特別参加してくれます。とっても楽しい幼少科になること間違いなしです！「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。」マルコ10章14節。この夏も、イエス様の愛が子どもたち一人ひとりに届きますように。。



ティーンズ

ティーンズのみなさん、こんにちは！
は！^{きょねん} 去年も集いに参加した人、今年初めて参加しようかなと考^{かんが}えてる人、みんなとまた今年^{ことし}の集い・ティーンズで会えるの^あ楽しみにしてるよ！今年^{ことし}は「あなたを贖^{あがな}うキリスト」というテーマを、みんな^{いっしょ}で一緒に^{せいしょ} 聖書を読んだり、スモールグループで話^{はな}しあったりするよ。他に^{ほか}にも、Q&Aの時間や、楽しい自由時間のプログラムも準備^{じゅんび}しているよ♪ お友^{ともだち}達と、そして神様と一緒に過^{かみさま}ごす素敵^{いっしょ}な4日間をぜひ体験^{すてき}しよう！



ユース

今年の集いもユースは本大会に参加しつつ、独自のプログラムも準備します。次世代を担うユース世代ならではの集いをたっぷりと堪能しましょう。豊かな交わりと楽しいプログラムは、自ら作り出す！アイデアや奉仕者を募集いたします。どんどん希望をお知らせください。主の恵みのぶどう酒があふれる新しい皮袋となる集いが始まります。「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。（詩編133:1）」Hallelujah！

